平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社JBイレブン　　上場取引所　名
コード番号 3066　URL http://www.jb11.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 新美 司
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　(氏名) 亀岡 巧　TEL 052-629-1100

四半期報告書提出予定日　平成26年2月7日　配当支払開始予定日　未定
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,321	7.5	90	△20.2	79	△11.5	33	△23.0
25年3月期第3四半期	4,019	—	113	—	89	—	42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.84	19.81
25年3月期第3四半期	25.81	25.78

24年3月期は、決算期を毎年6月30日から毎年3月31日に変更したことにより9か月決算となっています。これに伴い、比較対象となる24年3月期第3四半期財務諸表を作成していないため、25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,007	1,090	27.2
25年3月期	3,940	1,000	25.4

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　1,090百万円　25年3月期　999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	5.00	—		
26年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,689	6.2	119	△21.5	99	△22.9	21	4.6	12.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②①以外の会計方針の変更　：　無
③会計上の見積りの変更　：　無
④修正再表示　：　無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,754,100 株	25年3月期	1,665,900 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	399 株	25年3月期	316 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,668,301 株	25年3月期3Q	1,665,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P 2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

平成25年12月24日を払込期日とする第三者割当増資により、普通株式88,000株を発行しています。平成26年3月期の業績予想に記載の1株当たり当社株主に帰属する当期純利益は、上記第三者割当増資による普通株式88,000株の増加を加味して再計算しています。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 1
（１）経営成績に関する説明 …… 1
（２）財政状態に関する説明 …… 1
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 2
４．四半期財務諸表 …… 3
（１）四半期貸借対照表 …… 3
（２）四半期損益計算書 …… 5
第３四半期累計期間 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期累計期間（平成25年４月１日から平成25年12月31日までの９か月間）の経済概況は、世界経済の持ち直しに加えいわゆるアベノミクス効果もあり、企業業績改善から雇用拡大へとつながり、また消費税増税前の駆け込み消費等も見られ、景気は拡大傾向にありました。

外食産業全般においても拡大基調がはっきりとしはじめる一方、デフレ経済下で店舗数を増加させた業態等に勢いを失うところもみられました。また、オーバーストアによる企業間競争の激しさは変わらず、原材料価格・エネルギーコスト・パートアルバイト時給等の上昇が続きました。

このような環境下で当社は、当第３四半期会計期間に出退店改装等の実績はなく、同累計期間としては、「一刻魁堂」１店舗、「ロンフーダイニング」４店舗の計５店舗を新規出店し、「一刻魁堂」２店舗を退店。また「一刻魁堂」１店舗、「ロンフーダイニング」２店舗で、リニューアル改装を実施し、２店舗を「一刻魁堂/真一刻(いっこくさきがけどうしんいっこく)」へ業態転換しました。

当第３四半期会計期間末の店舗数は76店舗（平成24年12月末比４店舗の増加）となり、業態別の店舗数は、「一刻魁堂」59店舗（同１店舗の減少、一刻魁堂/真一刻２店舗を含む）、「ロンフーダイニング」17店舗（同５店舗の増加）となりました。

第３四半期の業態別施策としては、「一刻魁堂」では、平成25年９月から販売開始した季節商品「台湾まぜそば」に対し、多数のお客様より継続販売要望があり、当初計画期間を延長し販売継続すると共に、12月からは昨年同様「チーズがけ/野菜味噌バターラーメン」を販売開始しました。

「ロンフーダイニング」では、季節限定商品を継続投入し、10月より、チャーハンでは「海鮮カニあんかけチャーハン」、デザートでは「甘栗のムース＆杏仁豆冨」等を販売し、合わせてクリスマス期間限定の高単価セットメニューの販売数が伸びる等、中華レストラン分野での差別化を、より一層進化させました。

これらの結果、全業態合計の既存店売上高は、第３四半期会計期間で前年同期比4.1%増加し、同累計期間でも同1.6%の増加となりました。また原価面では、豚肉や油に加え、鶏卵の仕入価格が大幅に上昇しましたが、米の価格が落ち着きを取り戻したこともあり、売上原価率が、第３四半期会計期間で前年同期比0.5ポイント改善しました(同累計期間では0.4ポイントの悪化)。

また、平成25年12月24日に、収益基盤の強化を目的とした第三者割当による新株式の発行を実施し、73百万円を調達しました。

以上により、当第３四半期累計期間の売上高は4,321百万円（前年同期比7.5%増加）となりました。

利益面では、原材料費・エネルギーコスト等の増大により、営業利益90百万円(同20.2%減少)、経常利益79百万円（同11.5%減少）となり、最終利益は、営業中の１店舗（一刻魁堂イオンモール大高店）を契約期間満了により退店することを決定し、その減損損失16百万円を特別損失として計上した結果、四半期純利益33百万円（同23.0%減少）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期会計期間末における流動資産は770百万円となり、前事業年度末に比べ112百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が75百万円増加したためです。

固定資産は3,236百万円となり、前事業年度末に比べ45百万円減少しました。主な要因は、その他有形固定資産が91百万円減少した一方、建物が24百万円および差入保証金が15百万円増加したためです。

流動負債は1,349百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円減少しました。主な要因は、その他流動負債が62百万円減少した一方、１年内返済予定の長期借入金が36百万円増加したためです。

固定負債は1,566百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円増加しました。主な要因は、長期借入金が80百万円増加した一方、その他固定負債が47百万円および社債が25百万円減少したためです。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成25年11月６日の「平成26年３月期　第２四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	404,238	480,034
売掛金	13,368	11,183
預入金	93,474	103,836
製品	12,739	22,298
仕掛品	27,731	32,537
原材料及び貯蔵品	13,051	28,862
その他	93,746	91,872
流動資産合計	658,349	770,624
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,516,808	1,541,699
土地	588,273	588,273
その他（純額）	410,751	319,696
有形固定資産合計	2,515,833	2,449,669
無形固定資産		
その他	32,048	37,835
無形固定資産合計	32,048	37,835
投資その他の資産		
差入保証金	508,654	523,740
その他	225,658	225,298
投資その他の資産合計	734,313	749,039
固定資産合計	3,282,194	3,236,543
資産合計	3,940,544	4,007,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	158,756	189,730
1年内返済予定の長期借入金	651,631	688,550
1年内償還予定の社債	42,000	46,000
未払法人税等	46,502	12,171
賞与引当金	21,127	11,404
資産除去債務	2,298	－
その他	463,929	401,799
流動負債合計	1,386,246	1,349,655
固定負債		
社債	30,000	5,000
長期借入金	1,288,479	1,369,413
退職給付引当金	24,067	25,254
資産除去債務	41,850	44,872
その他	169,658	122,130
固定負債合計	1,554,054	1,566,670
負債合計	2,940,301	2,916,325

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	624,555	661,579
資本剰余金	343,614	380,637
利益剰余金	30,967	47,406
自己株式	△208	△283
株主資本合計	998,929	1,089,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	628	842
評価・換算差額等合計	628	842
新株予約権	685	659
純資産合計	1,000,243	1,090,842
負債純資産合計	3,940,544	4,007,168

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	4,019,240	4,321,091
売上原価	1,113,559	1,216,079
売上総利益	2,905,681	3,105,012
販売費及び一般管理費	2,792,663	3,014,810
営業利益	113,018	90,202
営業外収益		
受取利息	363	296
受取配当金	63	81
賃貸不動産収入	44,050	33,492
その他	9,941	15,999
営業外収益合計	54,418	49,869
営業外費用		
支払利息	22,380	19,584
社債利息	852	596
株式交付費	－	568
賃貸不動産費用	41,270	34,880
その他	13,393	5,190
営業外費用合計	77,897	60,820
経常利益	89,539	79,252
特別利益		
固定資産売却益	－	44
特別利益合計	－	44
特別損失		
固定資産除却損	17,512	2,977
減損損失	－	16,947
特別損失合計	17,512	19,924
税引前四半期純利益	72,027	59,371
法人税、住民税及び事業税	29,495	26,596
法人税等調整額	△449	△320
法人税等合計	29,046	26,276
四半期純利益	42,981	33,095

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成25年12月24日付で、株式会社グルメ杵屋、サッポロビール株式会社、株式会社オリバー、ホシザキ電機株式会社、株式会社折兼、他当社役員等７名から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第３四半期累計期間において資本金が36,960千円、資本剰余金が36,960千円増加し、当第３四半期会計期間末において資本金が661,579千円、資本剰余金が380,637千円となっています。

（重要な後発事象）

（株式分割および定款の一部変更）

当社は、平成26年２月６日開催の取締役会において、株式分割および定款の一部変更について下記のとおり決議しました。

１．株式分割および定款の一部変更の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることで株式の流動性を高め、投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大を図ることを目的としています。なお、本株式分割により投資単位の金額は実質的に２分の１となります。

２．株式分割の概要

（１）分割の方法

平成26年３月31日（月曜日）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主が有する普通株式を１株につき２株の割合をもって分割します。

（２）株式分割により増加する株式数（平成26年２月７日現在）

①株式の分割前の発行済株式総数	1,754,100株
②株式の分割により増加する株式数	1,754,100株
③株式の分割後の発行済株式総数	3,508,200株
④株式の分割後の発行可能株式総数	7,280,000株

＊上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により増加する可能性があります。

（３）株式分割の日程

基準日公告日　平成26年３月14日
基準日　平成26年３月31日
効力発生日　平成26年４月１日

（４）新株予約権の行使価額の調整

株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の１株当たりの行使価額は、平成26年４月１日以降、次のとおり調整します。

	取締役会決議日	調整前行使価額	調整後行使価額
第２回新株予約権	平成19年12月５日	507円	254円

（５）１株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して計算しています。

前第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）		当第３四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）	
１株当たり四半期純利益金額	12円90銭	１株当たり四半期純利益金額	９円92銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	12円89銭	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額	９円91銭